

名取市環境審議会会議録

- 1 日 時 令和6年3月25日(月)
午後2時00分から3時10分まで
- 2 場 所 名取市役所 6階第2会議室
- 3 出席委員 会 長 長谷川 公一 副会長 菅野 美穂子
委 員 坂口 大洋 委 員 尾身 宜彦
委 員 小島 哲夫 委 員 今野 義正
委 員 星野 豊 委 員 遠藤 美砂子
委 員 吉田 芳弘 委 員 佐々木 格雄
委 員 齋 輝夫 委 員 氏家 晃
- 4 欠席委員 委 員 佐々木 せい子 委 員 相澤 久美
委 員 伊藤 秀利
- 5 事務局職員
クリーン対策課課長 加藤 公一
同 課長補佐 朽木 康裕
同 環境保全係長 佐々木 里香
同 主幹 古川 美和
- 6 会議傍聴者 なし
- 7 議事内容 次のとおり

午後 2 時 00 分 開会

○加藤課長

定刻となりましたので名取市環境審議会を開会いたします。本日、佐々木せい子委員、相沢久美委員、伊藤秀利委員につきましては、欠席の連絡が入っております。

名取市環境基本条例第 27 条第 2 項に審議会の会議は委員の半数以上が出席しなければ開くことができないとしております。本日は委員 15 名中、12 名の出席がありますので会議が成立していることを申し上げます。

また、名取市審議会の会議の公開に関する要綱により、この審議会につきましては、公開の審議会となっております。傍聴者 5 名迄となっておりますが、本日は傍聴者はいないところでございます。

○加藤課長

それでは開会にあたりまして長谷川会長よりご挨拶をお願いいたします。

○長谷川会長

年度末に押し迫った中でご出席いただきましてありがとうございます。一言ご挨拶申し上げます。

今年は雪も比較的少なく、過ごしやすい冬だったと思いますが、雪が少ないため夏場にかけて、水不足の心配があります。2 月、3 月は、暖かい日と冬に逆戻りするような気温の低い日とで温度差が激しく、体調維持などが厳しい冬でした。気候変動が気候に恐らく影響しているのではないかと思います。

本日は次第にありますとおり、令和 4 年度の名取市の温室効果ガス排出抑制等のための実行計画の取組についての報告と、前回の審議会でも議論した策定中の名取市地球温暖化対策実行計画について、先日パブリックコメントが行われたということで、その結果の報告となっております。是非、忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。

○加藤課長

ありがとうございました。それでは、本日の議事に入りたいと思います。名取市環境基本条例第 27 条第 1 項に、審議会の会議は会長が招集し、会長がその議長になるとあります。会長を議長として、議事進行をお願いします。

○長谷川会長

それでは、議事に入らせていただきます。報告事項 1 つ目の 令和 4 年度温室効果ガス排出抑制等のための実行計画の実施状況について、事務局よりお願いします。

○事務局

(資料をもとに令和4年度温室効果ガス排出抑制等のための実行計画の実施状況について説明)

○長谷川会長

それでは報告にもございました、令和4年度温室効果ガス排出抑制等のための実行計画の実施状況について、名取市における、市が管理している施設の中でどれくらい温室効果ガスの抑制が出来ているのか実績の報告ですが、皆さんの方から何かご意見、ご質問ございますか。

○菅野委員

4頁について2点あります。行政事務の廃棄物リサイクルですが、結局、廃棄の基準どおりに廃棄しているということですね。文書が何年保存のものが過ぎたので廃棄しますとして。減少というが過去にどれだけの文書があつて管理によるので、どういう意味があるのかと。努力して何とかなるものではないですよ。

○事務局

年度ごとの事業内容により、10年、5年或いは簡易的なものは3年としており文書の保存は、年度ごとにまちまちの状態です。ただ、現在、文書管理システムを導入し、PDF化するなどを行っております。稼働したばかりなので、今後、閲覧する紙の文書が減ると考えますが、令和5年度までは同様の状況かと思えます。

○菅野委員

公共事業等におけるリサイクルとある、リサイクルの意味は。分別しましたという意味ですか。

○事務局

工事の際の分別の仕方は分かりませんが、コンクリートなどは再度コンクリート化するという事になっているようなので、廃棄しないとするものは再資源化することになっております。そのように対応していると捉えております。

○菅野委員

電気が排出に対する割合高いですが、先程呼びかけていくとありますが、前回の審議会でも話したかと思いますが、この部屋こんなに明るくなくて良いのでは。

○事務局

この部屋の照明は配慮型のもので、以前は1箇所2本のものですが、現在は1本タイプのものでLEDかと思えます。本日は曇っているので全て点灯しており

ます。またこの照明は1箇所ずつの点灯ができないので、このような状態になります。昼休みなどは必要な箇所以外は消灯しております。

○長谷川会長

この部屋のものはLEDですか。

○事務局

6階の会議室はすべてLED化していた筈です。

○佐々木（格）委員

この色はLEDですね。古い施設は難しいですが、今の照明は1台ずつコントロールできる高度なものになってます。新しいものでは1個1個制御が出来ます。

○吉田委員

伺います。削減目標が非常に高くなっていますが、昨年度より高くなっているのが事実ですね。この事態を市はどう捉えていますか。

○事務局

市役所は頑張っているものの、学校施設でエアコンを設置したこともあり、電気使用量が急速に伸びてしまっています。これが当面の課題かと考えています。太陽光設備は各学校につけているものの、それだけで賄えるものとはなっていませんので、これを如何に賄えるようにするのが今後の課題と捉えております。

学校施設のものは国の補助金により設置したもので、平成25年度以降27年度頃に設置しており、今後、施設の老朽化により更新が求められますが、そこでなるべく高性能のものを国の補助金などを活用しながら更新出来たらと思っておりますが、今はまだ見通しがたたないのが現状です。

コロナなどもあり進まなかったという部分もあります。

○吉田委員

民間会社では常に見直しをしておりますが、過大な目標に対し、見直すべきではありませんか。

○事務局

現在、新規計画を策定中のため令和6年度からは新たな計画の目標を掲げておりますが、令和5年度までは現在の計画での評価となりますが、現時点で年度末であるため、遡って目標の見直しというのは難しいため、現行のままとさせていただいており、今時点ではやむを得ないものと考えております。

○吉田委員

いくつかの公民館があり、その使用量が平成 30 年とギャップがあるかと思えます。減っているところがあり、増えているところもあります。増えているところの公民館長に対し、情報を公開し、今後どのように運営していくのかという議論はありますか。

○事務局

そのような対応はいたしておりません。施設ごとに状況が違い、古い建物では隙間風などもあり暖房の効き目が異なるため、そのような施設が新築の建物と比較できるのかというところもあり議論に至っておりません。

○吉田委員

使用量が増えている以上、施設の老朽化がどうであれ、フィードバックはしておいた方が良くと思います。

○坂口委員

吉田委員の意見に半分賛成で少し違う意見です。例えば前に名取市文化会館について触れたと思いますが、そもそも施設の稼働率が違います。令和 2 年などはとても低い。多分公民館も施設によっては使用率が全然違う。少なくとも文化会館の大ホール、公民館などは全体の平均使用率が良いと思いますが、施設は使用率が上がるほど電気を使うのでそれを見た方が良い。電気を使うからちゃんとやっていないというのは少し違うし。

文化会館はそもそも電気の塊で、大ホールに千何百人を入れ、照明や空調を使う。ホールとしては多くの人に使ってもらいたいと思っているが、市役所から電気使うなどと言われると施設のアクティビティが落ちてしまう。なので、施設の利用状況を込みで、特に社会教育施設はこの稼働率でこの電気量となっているという情報を入れたうえで示した方が良くと思う。

もう一つは温暖化係数でエアコンはとても高いので、どのような性能のものを入れるか。CO₂でみると全く違うので。例えば照明ひとつ減らす話と、エアコンを入れるということは全然議論が違う話になってしまう。

いろんなデータをオープンにすることは賛成です。そうしないと中々議論にならないと思います。

○長谷川会長

この中でやはり稼働率的なものがどのようになっているのか。尚絅学院大学でもドアや窓の開閉など換気に注意していて、冷房や暖房の使用量は乱高下に 2、3 年増えている傾向にあり、ただ、先程の吉田委員の言うとおりに、各施設の館長さんなどに使用量に対するフィードバックがあることが大事だと思います。

○坂口委員

多分、施設がどれくらい使用しているなどは分かっていると思います。比較はそもそも施設のアクティビティが違うので、仮に稼働率に差がなければ同じでいきましようとなりますが、そもそものベースが違うのに電気量の部分だけでの比較はプレッシャーになりませんか。

それよりもエアコンがかかるのであれば、そもそも断熱整備が悪いので、暖房を入れても抜けてしまうため、こういうエアコンにしたらい、こういうサッシにした方がいいなどアドバイスとか、頑張ればプラスになるような整備をすることが大事で。館長に言ってもいいですが言われた方はプレッシャーになるので、施設整備する時に木サッシにしようなど、そういう議論が必要だと思います。出来ていないからやっていないのかということには賛成出来ません。

○長谷川会長

先程の意見に対してはそうだと思います。ただ、今はフィードバックそのものがないんですね。

○小島委員

名取駅のことですが、駅では以前から使用量のデータを取っており、一昨年は上がりましたが、昨年度は上がりず、今は大きく下がっています。暖房は入れても暖かい空気は上に行ってしまうが、ファンを回し空気を循環させると温度を下げて大丈夫なんです。そういうものの考え方が必要だと思います。

それから、一昨年、駅の照明が生産中止となったので、在庫を確保しながら、市に照明の入れ替えをお願いしており、令和6年度、7年度に対応してもらえることになりました。駅ではデータを取りながら対応しており、公民館でも同様に行っているのではないかと思います。

○佐々木（格）委員

紙の使用量をみると、令和4年度から紙の使用量が増えています。ある程度ペーパー化しないなどの対応が必要かと思いますが、如何でしょうか。

○事務局

先程少しだけお伝えしましたが、コロナが落ち着いてきたこともあり、それまで中断や延期、中止していた行事がいろいろなところで再スタートしており、市民向けの案内など紙の使用が増えているのが現状です。3月過ぎてから、市の内部ではありますが、公文書については文書システムを入れたので、今後減ってくるものと思っております。年度末になってから動き始めたもののため、来年度報告する分までは増え気味かと思いますが、令和6年度実績からは目に見えて減っていくものと捉えております。

○佐々木（格）委員

そうすると配る紙など上質紙などが増えたということですね。

○事務局

そのとおりです。

○坂口委員

資料の現計画3頁で、ここに入れるとすると6千t、次の頁ですとイメージでは3.9%減となりますが、今は6千になっているから、このグラフが成り立たない。それはどこかで示した方がいい。グラフと前の頁を見ると何とか行けそうではと、それでは現実とは違う話になるので。

目標を変えるのは基本賛成ですが、ここのメンバーだけでなく、現状はこうなっているということを共有しないと変えるという話にならないと思うので、令和4年度のデータを入れた方がいいのではと思います。

○長谷川会長

それでは今の坂口委員のご提案については、事務局でお願いします。

○事務局

今お話しいただいたのは、このようになることを想定した計画の部分のため、現状が反映されていません。このような形になれば、削減目標に近づけたかと思いますが、現状はそのように削減できませんでした。

○長谷川会長

他に意見がないので、続いて次の議題の名取市地球温暖化対策実行計画案に係るパブリックコメント実施結果について」を事務局から説明をお願いします。

○事務局

皆さまへの文書では資料をお送りするとしておりましたが、計画書の印刷が間に合わず、お手元にお届けできませんでしたので、後日、郵送にてお届けいたします。

皆さまからご意見をいただきました地球温暖化対策実行計画のパブリックコメントを行いましたので、本日は口頭にてご報告させていただきます。

2月13日から3月3日まで、パブリックコメントとして20日間実施いたしましたが、ご意見は得られなかったため、皆さまからいただき修正を加えた部分の他、誤字等の修正、グラフの色の補整などを行い印刷にかけておりますので、出来上がった後にお送りいたします。

○長谷川会長

意見がなかったということで、今後、実行計画をどう市民に提示していくか、審議会やクリーン対策課で説明会を開くとか、工夫しないとね。

○事務局

パブリックコメントも事前に10日間の予告期間を設け、新着情報にも2月13日からの開始をお知らせしたのですが、難しい内容だったのかと。

○菅野委員

ホームページ上で案内したのですか。

○事務局

はい。本当は広報でお知らせ出来たら良かったのですが、広報なとりは2ヵ月前にメ切になるので間に合わないため、ホームページ上だけでご案内差し上げました。

○菅野委員

私が所属している周囲の団体で、若い人からの参加を希望する問合せがあり、LINEの公式アカウントを作ったらどうかという意見がありました。

今はパソコンよりスマートフォンの使用が多いのか、役所からの情報の流し方も変わってきているのかもしれないです。

○事務局

積極的にエコ活動に参加くださる方は、どちらかというところ高年の方ですが、そのような方達が目にする機会が少なかったのかと思います。

○今野委員

などコンというものを毎年行っていますが、若い人達はスマホでやりますが、30代40代の方のアンケートを見ると、いろいろな方と交流できて良かったと回答がありました。県などもいろいろな事業をスマホに変えてきており、市も県に倣い変えていくようですが、今までのとおりの方が良い。それから若い人は広報を見ないです。

○菅野委員

アナログを廃止するのではなく、若い人も見るようないろいろな示し方が必要。

○坂口委員

名取市役所のパブコメって殆どゼロですよ。文化財も公共交通もゼロです。

別件で仙台市の文化財ケースのパブコメがあった時に、その時あったイベントはそもそも計画書を読もうというイベントで、読んだうえでどんなパブコメが書けそうかというものだったんです。

パブリックコメントって身近なことで、やると市の政策に反映されたり、良くなるというような誘導的なものがないと風土的に中々。例えば尚絅学院さんでやってもらおうなどがあるかもしれない。

○事務局

パブリックコメントという言葉自体が引き気味になってしまうのか、ご意見募集としても集まらず、また、参加してくださる世代の方に届きにくかったのが一番の原因かと考えております。

○長谷川会長

この計画だけではなく全体的に市民の参加が積極的ではないようです。

○事務局

計画を策定する時間が短く、完成を年度末までにということで、広報に掲載できない状況なども大きいのかと思います。それから、行動計画などもう少し分かりやすい名称であれば興味を持たれたのかとも思いました。

○長谷川会長

若い人に関心を持ってもらう、比較的高齢の人に関心を持ってもらう、両面大事だと思います。両面を睨みながら、どうすれば実行計画について関心を持ってもらえるのか。

名取市の中で比較的反応の良いものはどういったものだと反応が良いのか、また他の自治体なども同様に実行計画を作っていると思うので、反応の良い成果を上げているところはどのようなことをしているのかなど情報収集も是非していただいたら良いのではないかと思います。

今日の議題は以上で終了ですが、この機会に是非、発言したいという方はいらっしゃいますか。

○佐々木（格）委員

確認したいのですが、今回の報告は令和4年度と過年度の報告をいただいたんですが、環境省で令和6年度から計算手法や報告の仕方を変更するという通知が出ています。もう令和5年度は過ぎようとしています、令和6年度以降の報告なので計算の仕方や表現の仕方、目標値自体も今は2013年度比ですが、基準年度が変わる、単位についてもtで表しているものの小数点以下を切り捨てると変更内容に含まれているようですが、令和5年度の報告の仕方もそれに準じるので

すねという確認です。

○事務局

こちらにはそういった通知がなされていないと記憶しております。

○佐々木（格）委員

そういった紙などが来るんですか。

○事務局

そういった情報が国や県から届きますが、そのように変わります。基準年度が変わりますというような内容のものが名取市には届いていないので。

○佐々木（格）委員

それは環境省から直接届くものからスタートするのであって、いくら公表しようが、地方自治体としては指示が来ない限り動かないという解釈でよろしいですか。

○事務局

今のところは。

○佐々木（格）委員

日付でいうと2月16日付けで環境省が発行していますが、インターネットで見られますが、ここまで書いていて何も通知がないからやりませんというお話が通用するのか。目標自体も多分厳しくなると思います。基準年度が変わり、目標値もさらに厳しくなるという方向性の資料になります。今のところ分からないというのであれば、確認された方がよいと思いますが。

○事務局

基準の部分ですが、そもそもの基準が令和3年度に、それまで26%だったものが、国がいきなり46%にしますということになり、その前の時点で削減計画を策定している自治体は、そこに合わせ計画を変更ということが容易にできない。そのところは国もいずれ見直しの時に対応するというもので、名取市は今度の計画で国の46%、宮城県が50%としており、県に合わせて策定いたしました。

そうしたところ、12月のCOP28で変わる可能性があるのかとも思いますが、それも国の通知を待ち対応していくものと思います。

それから令和12年度、2030年度に第二次名取市環境基本計画が終了の年となりますので、次はその計画と併せて実行計画を見直しすることになりますので、新しい部分はその時に対応するものと思っております。現実的にまだ何の情報も

国、県から来ていないので、今のところは県に合わせるということで対応を考えていきたいと思っております。

○齋委員

この計画の中、温暖化防止についてやっていますが、市民委員の立場からする名取市の市民はこの問題に対してどのくらい意識して取り組もうとしているのかと。どこの県でも同じかと思いますが。私たちの審議会は、スタンス、立場、やっていることはPRするというのも大事で教育が大事です。広報にこういうことをやっていますということ載せるとかすると広がると思いますので意見を申し上げました。

例えばこの資料でカラーは見やすいですが、白黒でも十分読めますので、こういうことをしているということの一つのポイントとして、小さいことですが考えてみました。細かいことですが私たちのもう一つの視点だと思いました。

○長谷川会長

他になれば議事につきましてはこれで終了とさせていただきます。円滑な議論をいただきましてありがとうございました。

○加藤課長

長谷川会長スムーズな進行をありがとうございました。皆さまからいただいた貴重なご意見を参考にしながらより良い環境づくりを進めてまいりたいと思いますので、今後どうぞよろしくお願いいたします。

それでは閉会の挨拶を菅野副会長からお願いいたします。

○菅野副会長

(副会長からのご挨拶)

○加藤課長

ありがとうございました。

以上をもちまして、名取市環境審議会の一切を終了いたします。

皆様大変お疲れ様でした。

以 上